



ポータブル糖度計

(BX-1/BX-1S)

洋菓子測定のヒント



京都電子工業株式会社

目次

1. 各種試料の測定範囲と測定例.....	1
2. 洋菓子の糖度測定のコント.....	2
2-1.砂糖菓子(コンフィズリー)作りでの砂糖煮込み(コンフィール)液の測定.....	2
2-2.チーズの測定.....	2
2-3.プリン・ゼリーなどの加工品の測定.....	3
3. 装置の管理について.....	4
4. 故障かな?と思ったら.....	5

1. 各種試料の測定範囲と測定例

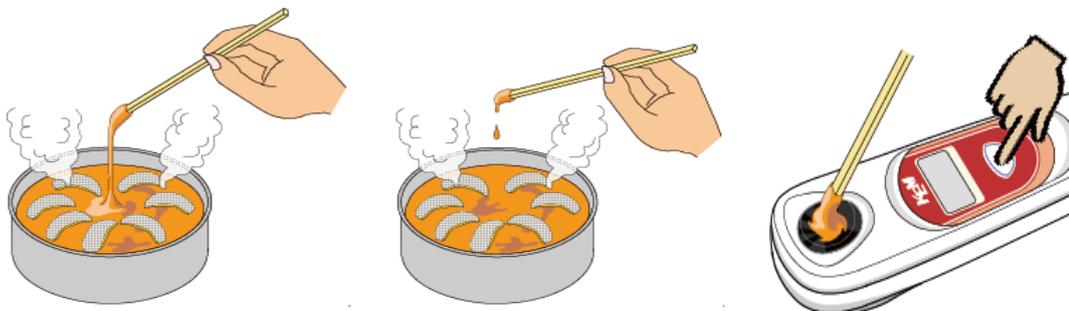
測定例 洋菓子編

ポータブル糖度計 測定範囲	BX-1/BX-1S									
糖度(%) 試料	10	20	30	40	50	60	70	80	85	
砂糖煮込み液										
ゼリー										
プリン										
生卵(白身+黄身)										
チーズ										
生クリーム	気泡が多く混入し、脂肪分も多いため、正確な測定はできません。									
ホイップクリーム	気泡が多く混入し、脂肪分も多いため、正確な測定はできません。									

2. 洋菓子の糖度測定のコツ

2-1. 砂糖菓子(コンフィズリー)作りでの砂糖煮込み(コンフィール)液の測定

果物等を糖液に漬け、砂糖とともに煮詰める過程(コンフィール)での測定です。

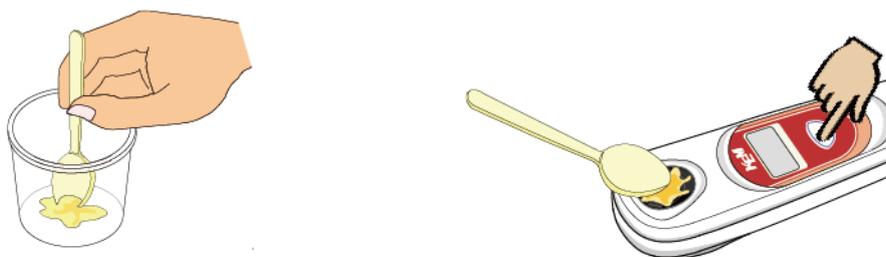


- 1) 木製の棒、竹製の棒などを用いて試料を採取します
- 2) 採取する試料の目安量は採取棒にからむ程度とします
- 3) プリズム部に採取棒で試料を塗りつけ、10秒程度かき混ぜた後[Read]ボタンを押します

[測定に関する注意点]

- 試料量は採取棒にからむ程度が適量です。
試料量が多すぎると測定値が大きくなる原因となります。
- 試料が管理幅を超えた場合は、そのまま採取棒でかき混ぜて再度測定してください。
- 試料が不均一な場合は測定値がばらつく可能性がありますので、このような場合は試料を採取しなおしてから再度測定してください。

2-2. チーズの測定

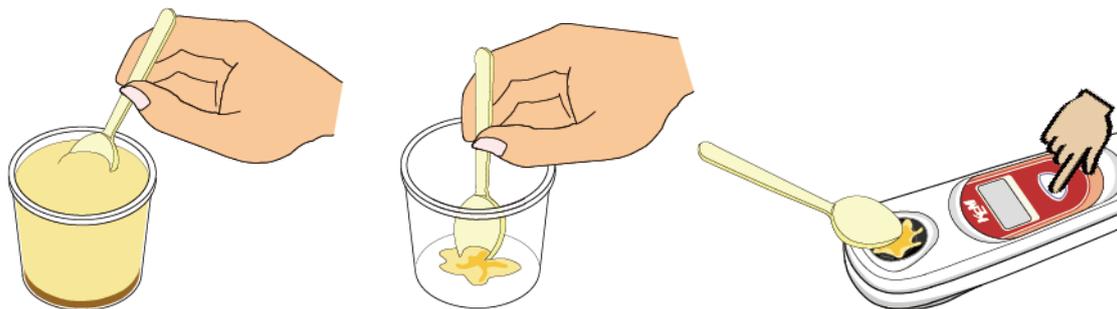


- 1) 試料をポリカップなどに採取し、潰してよく混ぜます
- 2) プリズム部に試料を塗りつけ[Read]ボタンを押します

[測定に関する注意点]

- 試料は約1cm角にカットし、スプーン等で潰した物をプリズム部に塗りつけて測定します。
- チーズやバター等の試料は油脂分が多く試料表面と内部の状態が不均一のため、プリズム部に光の散乱等の影響を与えますので、測定値がばらつく可能性があります。このような試料は複数回測定し、その結果の平均値を採用してください。

2-3. プリン・ゼリー等の加工品の測定



1) 試料の測りたい部分を別の容器に採取します

2) 採取した試料を均一にするため十分にかき混ぜます

3) プリズム部に試料を塗りつけて [Read] ボタンを押します

【測定に関する注意点】

- プリンやゼリー等の加工品は試料自身が不均一なため、試料の前処理が重要です。
- 試料の測りたい部分を採取した後、試料を均一にするため十分にかき混ぜます。
- プリズム部に塗りつける試料は、必ずかき混ぜた物を使用してください。

3. 装置の管理について

- 測定後の機器の洗浄は必ず十分に行ってください。
プリズム部で測定を行うポータブル糖度計は、測定部のプリズム部が汚れていると正確な測定が出来なくなります。
よって、測定後は流水などで必ず十分な洗浄を行ってください。

バター・ラード等の油脂分を含んだ試料の測定を行った後は・・・

試料を拭き取り、計器の先端部を中性洗剤で洗浄してください。
その後、洗剤を水道水で洗い流し、乾いたティッシュペーパー等で水分を完全に拭き取ってください。
水垢がついてしまうと正しい測定が出来なくなるため、水分は必ず残さず拭き取ってください。

※ どうしても水垢がついてしまった時の対処法

- 1) 市販のクリームクレンザーの原液をプリズム部に落とし、綿棒の先などを使って水垢を擦り落としてください。
 - 2) 擦り落とした後は水道水でプリズム部を丸洗いして洗剤を全て洗い流し、その後、乾いたティッシュペーパーで水分を完全に拭き取ってください。
- **BX-1/BX-1S** をご使用の場合は、測定前には必ず水を測定し、測定結果画面に『0.0%』と表示される事を確認してから試料の測定を開始してください。
 - 測定結果の表示が、もし『0.0±0.2%』の範囲を外れた場合は、上記『測定後の機器の洗浄は必ず十分に行ってください。』を参考にしてプリズム部を洗浄し、再度測定前確認を行ってください。
- ※ 再洗浄を行っても表示値が改善されない場合は、ゼロ校正を実施してください。
- 使用されない場合は、本体をやわらかい布に包むなど本体に衝撃を与えない状態、または、購入時のケースに入れて保管してください。

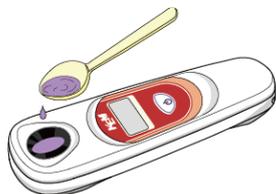
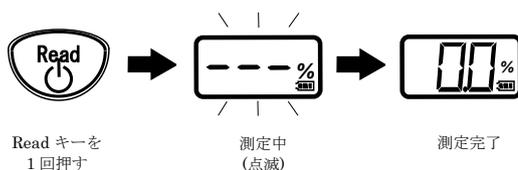
4. 故障かなと思ったら

1. 試料量が充分あり、装置の測定範囲内の試料であるにもかかわらず **LLL%**、あるいは、**HHH%** が表示される。

対策：プリズム部が汚れていませんか。一度プリズム部の洗浄を試してみてください。



流水で汚れをよく落としてから、乾いたティッシュペーパーなどできれいに水分を拭き取ってください。



きれいに拭き取った後に、水を測定してください。
『0.0±0.2%』の範囲が表示されれば装置は正常ですので、再度試料の測定を行ってください。

- ※ 水の測定結果が『0.0±0.2%』以内にならなかった場合は、プリズム部の汚れが十分に落ちていないか、ゼロ校正が正しくない等の原因が考えられます。
よって、その場合は、中性洗剤を染み込ませたティッシュペーパー等を使用してプリズム部をきれいに拭いてから流水で洗い流し、最後に、乾いたティッシュペーパー等でプリズム部表面を目視にて汚れが見えなくなるまできれいに拭いてください。



中性洗剤を染み込ませて拭いてください。
(油脂分を含んだ試料の時に有効です)